

《大ホール使用時の新型コロナウイルス感染症対策事項》

- ・チケットの販売については、購買者と接触する機会を十分に減らす。チケットのもぎり時は、手袋を着用して行う。又は来場者がチケットをもぎり、目視で確認する等接触をできる限り防ぐ。
- ・非接触型検温機器等を活用し入場者を検温し、発熱、咳、喉の痛み、味覚異常の症状等体調不良がある方や過去2週間以内に感染が拡大している国や地域への訪問歴がある方には、来場を控えるよう周知する。
- ・入退場は余裕を持った時間を設定し、間隔（できるだけ2m）を空け入退場が行えるよう主催者側による入退場整理を行い、混雑を防ぐことにより密集、密接状態を作らないこととする。また、席をゾーンごとに区分し、時間差を設けての入退場やトイレ休憩等が行えるように工夫する。（自動販売機前及び喫煙所での密集、密接についても考慮する。）
- ・公演時には大声での声援、歓声は控えるように周知する。
- ・手洗い、消毒を慣行する。
- ・大声の会話を慎むように開演や休憩時等に適宜場内アナウンスを行う。
- ・非接触型検温機器や消毒液等については、館側で用意できる分には数に限りがあることから、主催者側においても十分な数量を確保する。
- ・熱中症のリスクを勘案しながら、来場者にマスクの着用を呼びかける。
- ・パンフレット、アンケート等の物の配布は手渡しで行うことは中止し、机等に設置する等の据え置き方式で行う。
- ・公演等に係る演者のグッズ販売は、原則としてオンラインでのみ行う。
- ・飛沫感染対策として、前方席の使用を極力控えるなど、演者と客席の間隔をできるだけ確保する。（親子席の使用禁止）

- ・最前列の客席はフェースシールド等の着用を検討すること。
- ・換気が十分に施せないこともあり、30分毎に1回の換気を実施すること。出入口の開放、搬入口の開放等、空気の入れ替えが可能な出入口全てを開放して換気を行う。換気のために30分おきに休憩を入れるようにしてください。安全確保の対応であり、遵守いただけない場合は利用ができない可能性もあります。
- ・演者の入待ち、出待ちは控えるよう呼びかける。また、プレゼントや差し入れ等も控えるように呼びかける。
- ・公益社団法人全国公立文化施設協会が作成した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」を遵守すること。

※上記記載の対策事項の例外は基本認めません。